

研究業績・社会活動「新聞、雑誌、ラジオ、テレビ」

氏名(吉原 紳)

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
「IV. 新聞、雑誌、ラジオ、テレビ」				
1. 距離の謎が解明できた「入れごろ、外し頃」	単著	1986.01	ゴルフダイジェスト社 月刊ゴルフダイジェスト	
2. 数字にはっきりと表れた中嶋常幸自滅の図式	単著	1986.08	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	
3. 全英オープンゴルフ最終日	単著	1986.08		
4. 「特別企画」帝王ジャックニコラウスを裸にする	単著	1986.09	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	独特のゴルフ理論をもつ3人が帝王をウォッチング・吉原紳・市村操一・瀬セ孝一氏。
5. 「グリップ探訪記」何故この太さ・一体どうして決まったの	単著	1987.01	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	コックを使う為にはグリップは細めがいい、使わないならふと目がいい。「グリップは小指・薬指・中指の最大公約数。
6. もうショートパットなんか怖くない	単著	1987.01	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	「百発百中のショートパット術」技術編・実験からみたアマチュアのミス 心理編・アマチュアにとって入れごろ外し頃とは。
7. 多角的分析「へた」の理由	単著	1988.01	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	万年ビギナーゴルファーに送る福音のプロジェクト大作戦「目標とイメージがはっきりしないのが下手な理由。
8. パットでの目の使い方	単著	1988.01	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	フィーリングをつくるのは「目」だどこをどう見たらグリーンが読めるか。スムーズに打てるか・体育生理学から解明する。
9. 岡本綾子の「ゆっくりズム」を科学する	単著	1988.05	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	世界一スムーズ「アヤコ」のリズムを解明する。
10. プレー時間の差は情報整理時間の違い	単著	1988.12	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	早いプレーで高い評価を受けている倉本昌弘、スロープレーで非難されているデビット・イシイ。この二人の違いはどこか、また早いのがいいのか、遅いのがいいのか。
11. こだわり「技術探求隊」アマ・プロとも、パッティグの左手は、右手か・左手か	単著	1989.02	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	
12. ティアアップから打つまで「自分のベストなイメージングタイムを作る」	単著	1989.03	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	
13. 打つまでの手順で集中力を付ける方法「ティアアップから打つまで自分のベストなイメージングタイムを作る」	単著	1989.03	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
14. ゴルフとメディカルチェック	単著	1989. 10	日本ゴルフ学会ニュース第3号 p. 2	ゴルフプレー中の突然死が多くなってきている、ゴルフを安全で楽しくプレーする為にメディカルチェックが大切であり、その必要性について検討した。
15. ゴルフ場での安全対策「第1回」ゴルフ場での事故、障害の実態	共著	1990. 06	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー 6月号 p. 76～p. 78	ゴルフはスポーツとして人気の高いスポーツの1つであるが反面死亡事故をはじめとする、プレー中の事故も増えてきている、さらに従業員の事故も多い、ゴルフ場側の安全管理の実態と予防対策について検討した。
16. ゴルフ場での安全対策「第2回」内科的障害への対処法	共著	1990. 07	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー 7月号 p. 79～p. 82	プレーヤーの多くは中高年者である、したがって生活習慣病を有する人が多い、心臓病への対応、脳卒中への対応、糖尿病への対応その他の症状への対応について検討した。
17. ゴルフ場での安全対策「第3回」プレー中の怪我と応急処置	共著	1990. 08	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー 8月号 p. 85～p. 87	プレー中の怪我と応急処置、事故が起きた場合の心得、怪我人観察のポイント、処置する際の注意、止血法、患者の運搬法などについて検討した。
18. ゴルフ場での安全対策「第4回」スポーツ障害の予防と処置	共著	1990. 09	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー 9月号 p. 85～p. 87	ゴルフで起こりやすいスポーツ障害の予防対策ゴルフで使う筋のストレッチ、ウォーミングアップなどの紹介
19. ゴルフ場での安全対策「第5回」スポーツ傷害の予防と処置（その2）	共著	1990. 10	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー 10月号 p. 87～p. 89	スポーツ傷害の予防対策、疲労回復方法や、スポーツマッサージ、アイシングその他、体力作りについて検討した。
20. ゴルフ場での安全対策「第6回」スポーツ傷害の予防と処置（その3）	共著	1990. 11	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー 11月号 p. 86～p. 89	スポーツ傷害時の救急処置、応急処置の基本及びテーピング、緊急時における心肺蘇生法について検討した。
21. 急病・障害への応急処置と予防対策	単著	1993. 03	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー ゴルフ場運営研究誌	
22. ゴルフ場はスポーツクラブに比べ安全・救急対策に大幅な遅れ		1993. 04	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー ゴルフ場運営研究誌 p. 127～p. 128	
23. ゴルフ場は救急医療体制の確立を急げ、全国のゴルフ場の遅れた応急実態		1993. 06	毎日エコノミスト 毎日新聞社 p. 69～p. 72	
24. 近畿地区ゴルフ場の実態調査、安全対策、救急医療体制は不十分		1993. 06	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー ゴルフ場運営研究誌 p. 123～p. 124	
25. ゴルフ場での事故の実態	単著	1994. 02	読売新聞 スポーツ医学6 健康への指標	ゴルファーの安全対策
26. ゴルフに潜む危険性、動脈硬化で突然死	単著	1994. 04	日刊「ゲンダイ」	ゴルファーの実体を調査し、ゴルファーのライフスタイルを調べることにより、突然死の実態について検討した。そこでメディカルチェックの必要性を勧める。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
27. 多発するゴルフ「突然死」	単著	1994.04	テレビ朝日 ステーションEYE	関西のゴルフ場262カ所における突然死の実態、特に心筋梗塞にならないためにどんなことに注意が必要か。ゴルフをレジャースポーツと簡単に考える危険性について解説する。
28. 夏期ゴルフプレーにおけるアドバイス	単著	1994.04	ゴルフダイジェスト社 ゴルフダイジェスト p. 64～p. 65	夏期におけるプレーについての注意として、日射病、脱水等による事故にならないためどんなことに注意してプレーすれば良いか解説した。
29. 多い突然死 「最近のゴルフ場での突然死のデータから」	単著	1994.06	ゴルフダイジェスト社 ゴルフダイジェスト p. 195～p. 196	最近の「突然死」のデータから、どんな場面での突然死が多いのか、原因は何か、何が問題かについて解説した。
30. ゴルフのイップス退治法	単著	1994.09	ゴルフダイジェスト社 月間ゴルフダイジェスト p. 218～p. 219	プレーヤーの多くは一度はこのイップス病になるといわれている。また、上級者になればなるほどイップス病にかかりやすい。その対策と予防方法についての検討した。
31. 中国・四国地区の事故、救急体制の実態		1994.09	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー ゴルフ場運営研究誌 p. 110～p. 111	
32. ゴルフ場での死亡事故はこんなにある	単著	1994.09	NHKラジオ 健康一口メモ ゴルフ健康講座	ゴルフ場への実態調査を行いその事故の多さについて検討するとともにその事故に対するプレーヤーの対応とゴルフ場側の体制について検討した。
33. プレッシャーを科学する 「メンタル講座1」	単著	1994.09	NHKラジオ 健康一口メモ ゴルフ健康講座	プレーヤーの多くはこのメンタルなスポーツを楽しんでいる。このプレッシャーがなければゴルフは決して楽しくないといわれている。プレーヤーにかかるプレッシャーの原因、その対策について検討した。
34. リラックスゴルフのすすめ	単著	1994.09	NHKラジオ 健康一口メモ ゴルフ健康講座	ゴルファーのライフスタイルには、いろいろと問題がある。どのようにすれば健康に良いゴルフができるか解説した。
35. 中高年から始める人に	単著	1994.09	NHKラジオ 健康一口メモ ゴルフ健康講座	若い人と違って、中高年者がこれからゴルフを始めるにあたり、腰痛やゴルフ腱鞘炎にならないための注意点などについて解説した。
36. 女性ゴルファーへのアドバイス	単著	1994.09	NHKラジオ 健康一口メモ ゴルフ健康講座	若い女性、子育てを終わった奥様ゴルファーへ科学的、医学的視点からのアドバイスをしたものである。
37. 疲労を残さない為に健康管理は自分で	単著	1994.09	ゴルフダイジェスト社 ゴルフダイジェスト p. 142～p. 143	ゴルフプレー中の水分補給は大切であり、食事や入浴にも注意して日頃から体を鍛えることの必要性について解説する。
38. みんなの健康 「心筋梗塞に注意」危険が一杯の夏ゴルフ	単著	1995.01	ゴルフダイジェスト社 ゴルフダイジェスト p. 207～p. 209	夏場のゴルフプレーにおける注意、特に日射病、脱水症、心筋梗塞などにならないための心得について解説した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
39. 安全管理救急対策はまだ不十分	単著	1995.07	鹿児島新報	ゴルフ場へのアンケート調査により日本のゴルフ場での安全対策、救急医療体制の不備が指摘された。その対策と方法について検討した。
40. 夏のゴルフ・基礎の基礎	単著	1995.08	静岡新聞	循環器系の疾患の多くは夏期に多く発生しているというアンケート調査の結果を基に夏期におけるプレーヤーの心拍血圧、皮膚温などの基礎的研究について検討した。
41. 夏のゴルフ心筋梗塞に注意 「日射病や脱水も、2ホールに1回の水分補給」	単著	1995.08	神戸新聞	夏場のゴルフプレーにおける注意、特に日射病、脱水症、心筋梗塞などにならないための心得について解説した。
42. 夏のゴルフは危険がいっぱい 「心筋梗塞に注意」	単著	1995.08	茨城新聞	夏場のゴルフプレーにおける注意、特に日射病、脱水症、心筋梗塞などにならないための心得について解説した。
43. 生活のページ 「夏のゴルフに注意」プレー中に突然死も	単著	1995.08	高知新聞	夏場のゴルフプレーにおける注意、特に日射病、脱水症、心筋梗塞などにならないための心得について解説した。
44. 夏のゴルフは要注意 「多い日射病、脱水症」	単著	1995.08	徳島新聞	夏場のゴルフプレーにおける注意、特に日射病、脱水症、心筋梗塞などにならないための心得について解説した。
45. 健康 「夏場のゴルフは危険がいっぱい」死を招く日射病や脱水、注視する勇気が必要	単著	1995.08	福島新聞	夏場のゴルフプレーにおける注意、特に日射病、脱水症、心筋梗塞などにならないための心得について解説した。
46. 暮らし 「危険がいっぱい、炎天下のゴルフ」全国で200人が死亡	単著	1995.08	民報	夏場のゴルフプレーにおける注意、特に日射病、脱水症、心筋梗塞などにならないための心得について解説した。
47. 家庭で役立つ医学 「夏ゴルフ、心筋梗塞に注意」	単著	1995.08	NHKテレビ	夏場のゴルフプレーにおける注意、特に日射病、脱水症、心筋梗塞などにならないための心得について解説した。
48. ゴルフで突然死 「ショットで心拍急上昇」	単著	1995.12	ゴルフダイジェスト社 ゴルフダイジェスト p. 224～p. 226	スポーツ中の事故は、いろいろなスポーツ中に起きているしかしゴルフ中の事故が最も多いのはなぜか、ゴルフ中の生体特に心拍数及び運動量、メンタル的な面から検討した。
49. 生活ホットモーニング 「中高年のスポーツ事故、ここに注意」	単著	1995.12	読売新聞	中高年者のスポーツ事故はいろいろなスポーツで起こっている、特にゴルフやスキー、ジョギングの事故が多いといわれている、その中でゴルフの事故について検討した。
50. 合理的トレーニングで体を鍛える	単著	1995.12	読売新聞	ゴルフ場での事故をふまえてプレーヤーの健康と楽しいゴルフをするための体力づくりと、合理的なトレーニングで体を鍛える方法、さらにスコアアップにつながるトレーニングについて論述した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
51 健康への指標ゴルフに潜む危険性（動脈硬化で突然死も）	単著	1996.12	読売新聞	
52 冬のゴルフは背筋も寒い「緊張+寒さ=心臓に2重の負担」	単著	1995.12	NHKテレビ サンデースポーツ	すばらしいゴルフを多くの人に安心して楽しんでもらうためのゴルフ健康学として解説した。特にゴルフ場における事故の実態とメディカルチェックの必要性を述べ、さらにゴルフ場側へのアドバイスについて検討した。
53 ゴルフメーカーが雄「飛距離」買う前に試打を	単著	1996.12	サンデー毎日 p.165～p.166	
54 スポーツ健康学「ゴルフを始める人に」	単著	1996.04	アルバトロスビュー	ゴルフは大衆スポーツとして人気が高い。特に昨今の女性ゴルファーには驚くばかりである。そんな女性の中で、初めてゴルフを始めようとしている人へのアドバイスについて解説した。
55 ゴルフ場での突然死	単著	1996.05	日経ビジネス	
56 ティショットの心拍数にご用心	単著	1996.05	アルバトロスビュー	
57 スポーツ健康学「ゴルフ場での突然死」	単著	1996.05	読売新聞	練習中の心拍数及びラウンド中の心拍数を比較検討して、ゴルフ中の運動量を確かめたその結果ゴルフというスポーツの意識改革について解説した。
58 ハーフ後の一杯は最悪（脈拍がぐんと上がる）	単著	1996.05		
59 ゴルフ場での突然死	単著	1996.05	日経ビジネス	
60 ティショットの心拍数にご用心	単著	1996.05	アルバトルビュー	
61 ハーフ後の一杯は最悪（脈拍がグントはね上がる）		1996.05	GOLF JONGLE	
62 ゴルフの事故	単著	1996.06	東京新聞	中高年世代がゴルフをするときに安全に楽しむことがのぞまれる。プレー中に突然死にならないための12ヶ条について解説した。
63 突然死を招く日本型ゴルフ	単著	1996.06	TBSラジオ	高齢化社会に入り益々高齢者のゴルフ人口が増えてくると考えられる。その人達が安全で楽しいゴルフをするためにゴルフ場では何を、どう整えたらよいかそのノウハウについて解説した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
64. なぜゴルフ場で死亡事故が多いのか	単著	1996.06	月刊ヘルシートーク p.14～p.17	ゴルフのプレー中に突然死をする人が増えている。酒を飲みタバコを吸いながらのプレー日本独特の接待、混雑ゴルフでは運動としてのゴルフは期待できないそこで、突然死を防ぐゴルフプレーのあり方について解説した。
65. スポーツ障害 「高齢者に多い突然死」	単著	1996.07	週刊朝日	ゴルフ場での突然死が多い昨今、ゴルフ場で死なないためのアドバイスと、健康にいいゴルフについてノウハウを解説した。
66. なぜゴルフ場で倒れる、全国で推計200人の突然死	単著	1996.07	株式会社・大林組 安全ニュース p.17～p.21	全国のゴルフ場で年間推計で200人前後のプレーヤーが突然死によって命を落としている。楽しいはずのゴルフ場でなぜ突然死が起こるのかについて論及した。
67. ゴルフ場での救急車要請は夏場に集中 求められる施設の安全対策と自己の健康管理		1996.08	日経スポーツメディスン	
68. スポーツ健康学 「ゴルフは中高年に最適」	単著	1996.08	産経新聞	全国のゴルフ場を対象に安全対策や救急医療の実態について調べた。ゴルフコースでの突然死がいかに多いか、また事故は年毎に増えていることをふまえて、安全にゴルフをするためにの心得について解説した。
69. 日本型スポーツが危い		1996.08	集英社 創業70周年(パート) p.62～p.65	
70. マイヘルス 「ゴルフ場での突然死」	単著	1996.08	ゴルフダイジェスト社 ゴルフダイジェスト p.17～p.22	ゴルフ場へのアンケート調査の結果を基にゴルフ場での安全対策、救急医療対策の必要性、その具体策について検討した。
71. 働き盛り 「健康講座」	単著	1996.09	読売新聞	ゴルフ人口は2000万人その大半が働き盛りの中高年者である、あつてはならないプレー中の突然死に対するアドバイスとして、アルコール、タバコ、体調、環境に対する対応などについて解説した。
72. もっとゴルフを楽しくするための10か条	単著	1996.09	日本医療企画 HOSPITOWNN p.126～p.129	死亡事故がもっとも多いのがゴルフである。すばらしいゴルフをいかに楽しく、いつまでも続けるための10ヶ条について検討した。
73. 関東甲信越ゴルフ場の事故の実態「救急医療施設とスタッフの整備を」		1996.10	ゴルフダイジェスト社 ゴルフ場セミナー ゴルフ場運営研究誌 p.96～p.97	
74. スポーツ健康学 「飲み放題ゴルフ」	単著	1996.10	TBSラジオ	最近お客集めのためにの飲み放題ゴルフ場が増えている。健全なゴルフ場のあり方を啓蒙して筆者としては、残念でならない生涯スポーツとして、高齢化社会において最も相応しいといわれているゴルフプレーのあり方について解説した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
75. スポーツ障害の予防「ヘルシーモーニング」	単著	1996. 10	ベースボールマガジン社 ゴルフマガジン p. 134～p. 135	ゴルフ場における事故の実態調査をした結果、プレーヤーの健康に対する自己管理の欠如が事故の誘因となっているまた、ゴルフ場側の救急医療体制の早期確立が望まれる。
76. 健康への指標 ゴルフに潜む危険性（動脈硬化で突然死も）		1996. 12	読売新聞	
77. ゴルフメーカーが推す「飛距離」 買う前に試打を		1996. 12	サンデー毎日 p. 165～p. 166	
78. ゴルフと健康	単著	1997. 01	小学館 月刊「大丈夫」 p. 45	ゴルフは運動量としては多いスポーツとはいえない、従って月に1、2回のゴルフプレーで健康を獲得するのは困難である。そこで、日常生活の中で運動量を確保する必要性について解説した。
79. ホットバンカー（ラウンド前夜の適当な睡眠時間）		1997. 03	学研 PAR GOLF p. 192	
80. ゴルフ場で死なないために「相次ぐプレー中の突然死」	単著	1997. 04	NHKテレビ クローズアップ現代	ゴルフ場での事故が多発している現状をふまえ、内科的事故と外科的事故の比率について検討した。
81. 健康相談コーナー「ウォーキング中の膝、ふくらはぎの痛みについて」	単著	1997. 07	学研 PAR GOLF p. 135～p. 137	ジョギング、ウォーキングが盛んに行われている。そんな人たちの中での「事故」や「けが」も増えてきている。特に高齢者におけるウォーキング中の障害についてアドバイしたものである。
82. 夏のゴルフを元気に楽しむ方法	単著	1997. 08	月刊「蘇る」（経済界）	暑い夏でも心がけ次第で楽しいゴルフができる。夏のゴルフを元気に楽しむための秘訣とそのグッツについて検討した。
83. ゴルフと健康「夏のゴルフ」	単著	1997. 08	高知新聞	ゴルフは健康のために最適であるといわれている。しかしやり方によっては危険であり特に暑い夏期におけるプレーの事故予防対策について論及したものである。
84. 元気な熟年の突然死が増えている「ゴルフは2番と11番ホールが危険」	単著	1997. 08	毎日新聞	毎年200人もの人がゴルフ場で突然死している。その現実をふまえ、ゴルフは決して楽な遊びではなく、やはり日頃からゴルフをするためのトレーニングに心がける必要性について解説した。
85. 健康「ゴルフ場での飲酒」危険なビールがぶ飲み	単著	1997. 08	福島民報	夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食時のビールがある。「そのうまさ命取り」という事例について解説した。
86. 「生活いきいき」家庭お寒い救急医療体制	単著	1997. 08	下野新聞	お寒い救急体制夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食時のビールがある。「そのうまさ命取り」という事例を報告し救急体制も十分でないことを指摘した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
87. 暮らしトピックス 「夏のゴルフでご注意を」危険なビールのがぶ飲み	単著	1997.08	琉球新聞	夏のゴルフでご注意を夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食所のビールがある。「そのうまさ命取り」という事例について解説した。
88. 健康 「ゴルフプレー中の飲酒が心臓に負担、命取り」	単著	1997.08	民放	ゴルフプレー中の飲酒が心臓に負担、命取り夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食時のビールがある。「そのうまさ命取り」という事例について解説した。
89. 危険なプレー中の飲酒 「脱水症状で命取り」	単著	1997.08	四国新聞	脱水症状で命取り夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食所のビールがある。「そのうまさ命取り」になりかねない。
90. 家庭で役立つ医学 「ゴルフプレー中の飲酒」	単著	1997.08	神戸新聞	ゴルフプレー中の飲酒夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食所のビールがある。「そのうまさ命取り」になりかねない。
91. 健康 「危険なプレー中の飲酒」	単著	1997.08	茨城新聞	危険なプレー中の飲酒夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食所のビールがある。「そのうまさ命取り」になりかねない。
92. 情報ワンダーランド		1997.08	学研 PAR GOLF p.123	
93. 暮らしと健康 「ちょっと待て、そのうまさ命取り」ゴルフプレー中の飲酒	単著	1997.08	徳島新聞	ゴルフプレー中の飲酒夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食所のビールがある。「そのうまさ命取り」になりかねない。
94. 元気な熟年の突然死が増えている ゴルフは2番ホールと11番ホールが危険		1997.08	蘇る p.59	
95. 生活のページ 「ゴルフプレー中の飲酒」脱水症状で命取り	単著	1997.08	読売新聞	脱水症状で命取り夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食所のビールがある。「そのうまさ命取り」になりかねない。
96. ご用心（安全にスポーツをするには）		1997.09	読売新聞	
97. 健康 「ビールのがぶ飲みはゴルフ中危険」	単著	1997.09	日本放送 高嶋ひでたけ おはよう中年探偵団	ビールのがぶ飲みはゴルフ中危険夏のゴルフの楽しみにしっかり汗をかいた後に飲む昼食所のビールがある。「そのうまさ命取り」になりかねない。
98. 「ゴルフ一番危険なスポーツ」		1997.09	アルバ p.128	

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
99. 突然死 「飲酒ゴルフは心臓酷使」	単著	1997.09	日刊「ゲンダイ」	いよいよスポーツの季節大いに体を鍛えたい。ところが心臓発作などで運動中の突然死も多くなる。ゴルフも見かけは楽そうに見えるが思わぬ事故を引き起こしかねない。そこで安全で楽しいゴルフを行うための心得について解説した。
100. 「シリーズ ゴルフと健康」 夏のゴルフ「ゴルフを生涯の友として長く付きあうためにこの夏を乗りきろう」		1997.09	学研 PAR GOLF p.135～p.137	
101. ゴルフ中の突然死は年間200人 「死亡と結びつく運動不足、高血圧、高脂血症」		1997.09	毎日新聞社 毎日ライフ p.86～p.89	
102. ゴルフ場での突然死を防ごう		1997.10	南日本新聞	
103. ゴルフ一番危険なスポーツ	単著	1997.11	毎日新聞	中高年ゴルファーへのアドバイス。安全でたのしいゴルフをするための心得について解説した。
104. 突然死から身を守る 「原因は心筋梗塞、急性心不全、脳卒中」	単著	1997.11	日刊「ゲンダイ」	ゴルフプレー中の事故及びゴルフ場側の救急医療体制の実態を紹介し、生活習慣病有資格者に注意を促し予防対策について解説する。
105. 特集ワイド2 「危険因子を持っている人要注意」	単著	1997.11	株式会社 法研	ゴルフでばっくり逝かないためにゴルフはやり方によっては以外と激しい運動であり、それなりの準備運動が必要であるさらに酒、たばこ、ストレスがかかるなど生活習慣病保有者は十分な注意が必要であることを解説する。
106. 練習しないと上手になれないのか		1997.11	安部譲二 ゴルフダイジェスト p.166～p.167	
107. 冬場のゴルフはジョギングより危険 「突然死が多いのは1～3番ホール」	単著	1998.01	めぐみ新聞 社会福祉法人 恵みの園出版部	ゴルフは軽スポーツと思っている人が多い、しかしやり方によってはジョギングより危険なスポーツであるプレッシャーの中でのショットは急激な心拍数増加や血圧の上昇をまねく等について解説した。
108. 健康トピックス 「ゴルフは危険なスポーツ？」	単著	1998.01	株式会社 研友企画出版 すこやかファミリー p.8～p.9	日本にゴルフが紹介されて90年になるうとしている。そこでイギリス「B. B. C」が日本のゴルフ取材にきた。日本のゴルフ場、練習場などを取材、日本のゴルフ場の実態については聖マリアンナ医科大学健康・スポーツ科学研究室について取材したものである。
109. ゴルフ一番危険なスポーツ 「年間の死者多数」	単著	1998.01	下野新聞	アンケート調査をもとにゴルフ場の事故の実態と安全対策について解説した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
110. 日本のゴルフ事情 「聖マリアンナ医科大学健康・スポーツ科学研究室取材」	単著	1998.01	英国 (BBC) 5月放送	軽いスポーツのように思われているゴルフであるが、実際はどのスポーツより突然死が多い。従ってゴルフは「一番危険なスポーツ」といわなければならないが、事故予防対策について検討した。
111. 海外で活躍する多くの日本人に安全で楽しいゴルフをするためにどんなことに注意が必要か実態とアドバイス	単著	1998.02	NHKラジオジャパン	海外で活躍する日本人は毎年増えつつあり、外国でゴルフをしている人も多いため、そこで外国で安全にゴルフをするための秘訣及び突然死対策について解説した。
112. 「ゴルフで死ぬな」 40歳を過ぎたら自己防衛をしよう		1998.03	月刊アミューズ p. 54～55	
113. 「究極の抜け道」健康わらじ		1998.05	月刊だいじょうぶ p. 26	
114. 寒い季節の安全ゴルフ学	単著	1998.06	四国新聞	夏期におけるゴルフ場での事故は心臓に起因するものが多いが冬期における事故は脳梗塞や脳出血が多い。その予防と対策について検討した。
115. 時の人	単著	1998.06	京都新聞	関東地区のゴルフ場へのアンケート調査から推計したゴルフ場での死亡事故について、10年前から調査をはじめ、その結果について経営者やプレイヤーに、安全にゴルフをするための秘訣及び突然死対策について解説した。
116. 時の人 「中年ゴルファーの危険性に警笛を鳴らす」高温多湿の夏、脱水症状などの突然死	単著	1998.06	学研 PAR GOLF p. 153～p. 156	夏に多い突然死。10年前からゴルフ場に対しアンケート調査を行った結果プレイヤーの事故の減少はみられない。そこで、安全にゴルフをするための心得について解説した。
117. 快適（日射病・熱中症・脱水の突然死の公式を理解して）		1998.07	学研 PAR GOLF p. 153～p. 156	
118. この人 「中高年のゴルフプレーの危険性に警笛を鳴らす」夏に多い突然死、お酒はプレーを終えてから	単著	1998.07	西日本新聞	中高年ゴルファーへのアドバイス。10年前からゴルフ場に対しアンケート調査を行った結果プレイヤーの事故の減少はみられない。そこで、安全にゴルフをするための心得について解説した。
119. 快適夏ゴルフ 「日射病、熱射病、脱水等の突然死の公式を理解して」	単著	1998.07	中国新聞	暑い夏において快適にゴルフをするためには日射病、熱射病、脱水症などの対策を考えなければならない、その方法について検討した。
120. ひととき 「安全に楽しく、プレー中の飲酒は厳禁」	単著	1998.07	愛媛新聞	プレー中の飲酒は禁止。アンケート調査を行った結果プレイヤーの事故の減少はみられない。そこで、安全にゴルフをするための心得について解説した。
121. この人 「安全に楽しく、プレー中の飲酒は厳禁」	単著	1998.07	山陽新聞	安全に楽しく、プレー中の飲酒は厳禁。10年前からゴルフ場に対しアンケート調査を行った結果プレイヤーの事故の減少はみられない。そこで、安全にゴルフをするための心得について解説した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
122. この人 「プレー中のアルコールは絶対にやめるべき」	単著	1998.07	岩手日報	プレー中のアルコールは厳禁。10年前からゴルフ場に対しアンケート調査を行った結果プレーヤーの事故の減少はみられない。そこで、安全にゴルフをするための心得について解説した。
123. 人 「プレー中のアルコールは絶対にやめるべき」	単著	1998.07	北日本新聞	10年前からゴルフ場に対しアンケート調査を行った結果プレーヤーの事故の減少はみられない。そこで、安全にゴルフをするための心得について解説した。
124. 時の人 「プレー中のアルコールは絶対にやめるべき」	単著	1998.07	東京新聞	10年前からゴルフ場に対しアンケート調査を行った結果プレーヤーの事故の減少はみられない。そこで、安全にゴルフをするための心得について解説した。
125. けさの人 「プレー中のアルコールは絶対にやめるべき」	単著	1998.07	日本放送	プレー中のアルコールは絶対にやめるべき。10年前からゴルフ場に対しアンケート調査を行った結果プレーヤーの事故の減少はみられない。そこで、安全にゴルフをするための心得について解説した。
127. この人 「日本の2000のゴルフ場、応急処置態勢は10指に満たない」	単著	1998.07	茨城新聞	日本の2000のゴルフ場、応急処置態勢は10指に満たない。10年前からゴルフ場に対しアンケート調査を行った結果プレーヤーの事故の減少はみられない。そこで、安全にゴルフをするための心得について解説した。
128 働き盛りのお父さん 突然死に向かってショットしていませんか	単著	1998.07	アルバトルビュー	
130. 高嶋ひでたけ 「おはよう中年探偵団」	単著	1998.07	MXテレビ	夏休みには入り海の事故が大変多くなってきている家族や友達と海に行くときなど事故を起こさないためのアドバイスについて解説した。
131 病院最前線ガイド98 ゴルフの安全対策	単著	1998.09	週刊文春 p 1 2 7	
132. 時の人 「プレー中のアルコールは絶対にやめるべき」	単著	1998.09	MXテレビ	関東地区のゴルフ場へのアンケート調査から推計したゴルフ場での死亡事故について10年前から調査を手がけ経営者やプレーヤーに安全にゴルフをするための秘訣及び突然死対策。
133. 東京都民のひろば 「ゴルフDE青春（ゴルフ鼎談）」ゴルフとの出会い	単著	1998.09	MXテレビ	ゴルフとの出会い。東京都民ゴルフ場でプロゴルファー、田原弘氏、テレビアサヒ、アナウンサー岩瀬恵子氏、三人によるトーク番組。
134. 東京都民のひろば 「ゴルフDE青春（ゴルフ鼎談）」ゴルフと健康	単著	1998.09	MXテレビ	ゴルフと健康。東京都民ゴルフ場でプロゴルファー、田原弘氏、テレビアサヒ、アナウンサー岩瀬恵子氏、三人によるトーク番組。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
135. 東京都民のひろば「ゴルフDE青春（ゴルフ鼎談）」ゴルフと心	単著	1998.09	MXテレビ	ゴルフと心。東京都民ゴルフ場でプロゴルファー、田原弘氏、テレビアサヒ、アナウンサー岩瀬恵子氏、三人によるトーク番組。
136. 東京都民のひろば「ゴルフDE青春（ゴルフ鼎談）」ゴルフと人間関係	単著	1998.09	日本テレビズームイン	ゴルフと人間関係。東京都民ゴルフ場でプロゴルファー、田原弘氏、テレビアサヒ、アナウンサー岩瀬恵子氏、三人によるトーク番組。
137. 東京都民のひろば「ゴルフDE青春（ゴルフ鼎談）」老後もゴルフ	単著	1998.12	東京FM	老後もゴルフ。東京都民ゴルフ場でプロゴルファー、田原弘氏、テレビアサヒ、アナウンサー岩瀬恵子氏、三人によるトーク番組。
138. 最近の若者の足について	単著	1998.12	週間ダイヤモンド	近年、若者の足について、足の形状から大きいだけが良いとはいえず、形も大切な要因の一つである。さらに長く歩いても疲れないためには、日常生活で何に注意したらよいかについて解説した。
139. 健康の為のゴルフ	単著	1999.04	日本アクセルシュプリング出版株式会社 Medical Tribune	1998年度今年を締めくくるコメントとして東京F. Mに招かれ、この冬を楽しくゴルフをするために、また1999年新しい年に向かって一般ゴルファーへのアドバイスについて解説した。
140. 中高年者の為のゴルフ	単著	1999.04	週間現代	「他人事じゃない突然死」ゴルフは思いもかけない事故が起こる、事故を起こさないためにもゴルフをスポーツととらえることが大切であり、日頃のトレーニングや健康管理を怠らないことが大事である。
141. スポーツ医・科学研究の専門家が語る ベストゴルフシューズの条件		1999.04	ゴルフダイジェスト	
142. シリーズ「健康とスポーツ障害」	単著	1999.04	マキノ出版 ゆほびか	ゴルフ場での中高年者による突然死が多い。その中でも特に冠動脈疾患による事故が多く、日常生活における健康阻害因子の積み重ねが原因と考えられる。
143. お昼のビールは御法度（他人事じゃない「突然死」）		1999.05	週刊ダイヤモンド p. 68	
144. 「私の健康」カリキュラム 2ホールごとにコップ1杯の水分補給		1999.06	週刊ゴルフダイジェスト p. 121	
145. 働き盛りのお父さん 突然死に向かってショットしていませんか		1999.07	アルバトロスビュー	
146. 病院最前線ガイド98 ゴルフの安全対策		1999.09	週刊文春 p. 127	
147. 私の健康カリキュラム	単著	1999.09	株式会社TKC 戦略経営者 No. 158	「私の健康カリキュラム」特に夏場のゴルフは要注意、心構えとして2ホールごとにコップ一杯の水分補給とアルコールを飲まないことが事故予防の要点である。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
148. “足”特集 「家の中をはだして歩くだけで足の感覚が鋭くなりボケが防げて冷え性も改善」	単著	1999. 10	アルバトロスビュー	「素足の勧め」家の中を裸足で歩くだけで足の裏が刺激され血液循環が良くなる。また素足のために足の病気になりにくい。したがって健康維持の為の素足の効用について解説した。
149. 生活ホットモーニング 「中高年のスポーツ事故、ゴルフプレーにご注意」	単著	1999. 10	NHKテレビ	基本的には歩くスポーツであるゴルフの危険性について、実験室での心拍測定やゴルフコースでの心拍及び血圧測定を通してゴルフコースでの安全対策について検討した。
150. ゴルフは体にいい 「万病を予防する裁量薬」	単著	1999. 12	TBSラジオ 森本毅郎スタンバイ	ゴルフは、基本的に歩くスポーツであり自己管理さえしっかりすればこれほど体によいスポーツはない、心がけ次第であると論述した。
151. ゴルフでの突然死にご用心 「自分でできる病気予防法」	単著	1999. 12	小池書院 アルバトロスビュー	ゴルフを通じて、有酸素運動が行われる。そのことにより自分の健康を維持する心構えについて検討した。
152. 冬期におけるゴルフプレーの注意点	単著	1999. 12	Nikkei Medical p. 7	冬場のプレーについての提言。アルコール・服装、さらに体調に注意をし、おかしいと感じたらすぐにプレーを中止する勇気をもつ。
153. ゴルファーと、お酒の上手な付き合い方		1999. 12	学研 PAR GOLF p. 99	
154. ゴルフ場での急病の半数が循環器疾患		2000. 04	Nikkei Medical p. 7	
155. 10人のドクターの10の提言 「ゴルフは体にいい」	単著	2000. 04	聖マリアンナ医科大学 関西地区同窓会	自己管理さえしっかりすればこれほど魅力的な運動はない。
156. データを見る 「循環器疾患が半数を占めるゴルフ場での急病」	単著	2000. 05	ゴルフダイジェスト社	ゴルフ場での事故について月ごとにグラフによって示すとともに、疾患についても多い順に解説し事故の実態について報告した。
157. ゴルフ場での事故の実態について	単著	2000. 05	ゴルフダイジェスト社	安全で楽しいゴルフをするための心構えについての講演。
158. 穏やかに快適にプレーするために「プロキア・コンフォートデルタ」 イ)欧米人に比べ足下に無頓着な日本人 ロ)歩行することを科学して ハ)ゴルフシューズに求められるすべて	単著	2000. 08	小池書院 ゴルフコミック (アルバ) p. 87	ゴルフシューズにもとめられる機能について解説、とくにスウィングの土台となる大切な機能を満たしているかについてのアドバイス。
159. ゴルフと健康新理論 好きなゴルフで死なない為に		2000. 08	週刊ゴルフダイジェスト	

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
160. ゴルフなんでも健康法	単著	2000.12	小池書院 アルバトロスビュー	ゴルファーの心構えプレー前の準備体操や昼食時における飲酒、さらに入浴法についての解説。
161. ゴルフの安全対策 「安全で楽しいゴルフをするために」	単著	2001.02	ゴルフダイジェスト社	ゴルフ場における事故の実態調査と安全対策に対する講義。
162. 冬季ゴルフにおける対策 「末梢神経を刺激して体の中から」	単著	2001.04	小学館 女性セブン	冬季ゴルフにおける事故予防のための心構え、特にスタート前の準備体操およびストレッチの効果について。
163. 上手にならなきゃその気持ちが「アガリ」を生む	単著	2001.04	ゴルフダイジェスト社	上手に打たなければならないという気持ちが「アガリ」という結果を生む。その上手な解決方法。
164. 医食同源 「安全で楽しいゴルフをするために」	単著	2001.04	テレビ東京	「安全で楽しいゴルフをする為の実践編」安全で楽しいゴルフをする為のゴルフ場側の救急医療体制の確立とプレーヤーの意識改革についての提言。医食同源始まって以来初の屋外での収録。
165. 確実にスコアアップできる 「ゴルフ健康学」		2001.05	アルバトロスビュー	
166. ダビンチの予言 「ゴルフ過去・現代・未来について」	単著	2001.05	ゴルフダイジェスト社	ゴルフの過去、現代、未来について、特に未来においてゴルフというスポーツがどのような変革をするのかについて興味のある話の展開を見る。
167. 私だけの秘密の練習場 「心拍数を測りながら練習しています」	単著	2001.07	テレビ朝日	ゴルファー名人がいろいろな練習方法を編み出して練習をすることは大切なことである。しかし、安全なゴルフ練習とは客観的に見て、あまり大きなクラブや力を入れて打たないことであるけれども、より安全を期するためには医学的心拍数の変化を見ることもその1つである。
168. 家庭でできる健康診断 「夫を突然死から守る29ヶ条」	単著	2001.07	ゴルフダイジェスト社	中高年ゴルファーの為の健康講座のつもりで安全に楽しいゴルフをする為にはまず家庭からという観点からの検討。
169. スーパーニュース 「突然死対策」	単著	2001.09	TBS	サッカー選手が試合中に突然倒れてそのまま死亡する事故のビデオを見ながら、あるサッカー選手の突然死（心筋梗塞）の状況についての解説。
170. 平成のシングルさん 「科学の力で上手くなる」	単著	2001.11	ゴルフダイジェスト社	今日のシングルプレーヤーの多くは研究熱心である。研究熱心でなければシングルにはなれない。その上で科学的な情報についての解説。
171. スーパーニュース 「ゴルフスイングで脳梗塞」 骨動脈解離症、頸椎の横を通る動脈の血管が強い衝撃によって血流障害が起きる	単著	2001.11	TBS	ゴルフのスイング中に起こる突然死については心筋梗塞や心不全などが主な表情として現れる。そんな状態と強力でスイングすることにより、骨動脈解離症、頸椎の横を通る動脈の血管が強い衝撃によって血流障害が起きる。この予防と対策。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
172. 下手な人が大振りすると脳梗塞に	単著	2001. 12	アルバトロスビュー	ゴルフのスイングと外科的障害について、技術の上達から見てもコンパクトなスイングが望ましい。身体的にも大きなスイングをする事により負担が多く脳梗塞を引き起こす。
173. これからの季節大事な体のマネジメント術 「寒さに負けない コツ」	単著	2001. 12	アルバトロスビュー	ゴルフ中での事故の調査を見ると季節によって事故の発生件数が分かれている。特に夏季と冬季における事故が多く見られた。従って季節ごとの体調管理が大切である。特に冬季のプレーについてのアドバイス。
174. ゴルフが脳梗塞の原因に 「ゴルファーを驚かせた新聞記事は本当か」	単著	2002. 01	週刊ゴルフダイジェスト p. 220～p. 223	脳梗塞の原因と予防対策についての解説。
175. 寒い日のプレーでケガや病気を防ぐための注意	単著	2002. 02	アルバトロスビュー p. 122	冬季のゴルフは、寒いために体に冬季どくどくな大きな負担になるプレー中の事故やけがが夏季よりも事故や怪我が多い、その対策。
176. 今週の気になる話題 滋賀県のゴルフ場でカートから転落死亡事故 なぜ起きたか	単著	2002. 09	学研 週刊パーゴルフ p. 194～p. 195	カートによる事故は毎年何件かは報告されている、今回の事故についてみると、運転の未熟差もさることながらコースにも問題がある。
177. カメルーンの選手の悲劇は他山の石ではない 夏ゴルフこそ突然死の温床	単著	2003. 03	学研 週刊パーゴルフ p. 208～p. 209	6月に行われたサッカーの試合でカメルーンの選手がプレー中に突然倒れ、そのまま亡くなった、原因は心臓発作だといわれている。
178. 夏の突然死にご用心 ゴルファーを待ち受ける心筋梗塞、脳梗塞	単著	2003. 08	学研 週刊パーゴルフ p. 70～p. 195	ゴルファーがなッ場に多い突然死何故ゴルフ中の突然死は起こるのかゴルファーが気おつけたい対策。
179. これが知りたい 「冬季ゴルフプレー日の朝風呂は有効か？」	単著	2003. 10	週刊ゴルフダイジェスト p. 174～p. 175	冬季ゴルフプレーにおける体調管理についての解説。特にプレー当日の朝食、車の運転、朝風呂等、冬季におけるプレーの準備。
180. こんな時どうする(傷病編)		2003. 10	週刊ゴルフダイジェスト p. 220～p. 223	
181. こんな時どうする？ 「プレー中のケガ 傷病編 突然の体調不良」	単著	2004. 01	週刊ゴルフダイジェスト p. 61	プレー中のケガ、傷病など突然なこる体調不良についての対処法および普段からの心構えについて。
182. スーパーニュース 「サッカー選手の突然死について」	単著	2004. 01	フジテレビ	フジテレビが他の局に先駆けてポルトガルサッカー選手が試合中に突死で倒れて亡くなられたテープをみながらその原因と対策について、特にヨーロッパのプロサッカー選手の現実。
183. ニューゼクシオを徹底検証	単著	2004. 01	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	クラブの試打報告について。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
184. ゴルフの年間死者316人は多すぎる 日本のゴルフ文化の貧しい証拠	単著	2004.01	週刊東洋経済 愉しむゴルフ p. 93	ゴルフ場での事故特に、突然死がここ数年増加の傾向がみられる、安全で楽しいゴルフをするために、そして末永く楽しむためには日頃の健康管理、栄養、睡眠、運動、規則正しい生活が大切。
185. 冬のゴルフを楽しむための体の危機管理学	単著	2004.02	週刊ゴルフダイジェスト p. 174～p. 175	冬季ゴルフプレーにおける体調管理についての解説。特にプレー当日の朝食、車の運転、朝風呂等、冬季におけるプレーの準備。
186. 体の危機管理学	単著	2004.04	ゴルフダイジェスト社 p. 261～p. 263	ゴルファーにおける自分の体の危機管理学についての解説。
187. ゴルフを楽しむための体の危機管理 寒い季節の安全対策マニュアル	単著	2004.04	ゴルファーズ チョイス	ゴルフをスポーツととらえることが大切であり、其のことににより体に気おつけるとともに、ゴルフをするための体力作りや練習も大切な準備と考えられる。季節ごとの楽しみも自然を楽しむことができる。
188. 突然死はこうして防げ	単著	2004.06	フジテレビ スーパーニュース	過去から現在までのゴルフ場での事故の実態についての結果と対策。
189. 朝と夜のゴルファー達は昼間の顔とはがらりと変わる 「練習するなら夕方が理想」	単著	2004.06	学研 週刊パーゴルフ	練習所の客層について興味があったので、朝練習にくるお客さんと、昼に練習にくるお客さん、夕方と、それぞれの仕事との関係について検討してみる。
190. 突然死はこうして防げ 「末永くプレーを続けけるための5ヶ条」	単著	2004.07	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	
191. 「ニューゼクシオ」を徹底試打・検証	共著	2004.09	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト	日本ゴルフ学会 コミュニティカレッジ募集要項
192. ゴルフと名のつく団体の活動内容	単著	2004.12	学研 週刊パーゴルフ	日本ゴルフ学会 コミュニティカレッジ募集要項
193. アンケート調査から見たゴルフ場の事故の実態		2005.02	学研 週刊パーゴルフ p. 114	
194. 10人のドクターが10の提言		2005.05	アルバトロスビュー p. 160	
195. ほっと生活大辞典「突然死」	単著	2005.07	NHK生活ほっとモーニング NHKテレビ	朝の番組「生活ほっとモーニング」プレー中の突然死の原因と予防対策について具体例をあげて注意、さらに健康のためのトレーニングについて。
196. 真夏のゴルフ医学	単著	2005.08	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト p. 72～p. 77	真夏のゴルフコースに行く前にちょっとしたことが生死を分ける「万が一」なんていう事がないように真夏のゴルフプレーの注意、「ゴルフの医学」。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
197. プレー中に熱中症にならないための5つの予防法	単著	2005.08	学研 週刊パーゴルフ p. 64～p. 67	夏のラウンドで一番怖いのが熱中症。木陰に座り込むくらいならまだいい方です、心筋梗塞や、脳卒中など場合によっては死に至る自分だけはこの過信が一番に危険である。
198. ゴルフ研究の今だから話せる失敗談 「アンケート調査から見たゴルフ場の事故の実態」	単著	2005.08	学研 週刊パーゴルフ	アンケート調査によるゴルフ場での事故の実態と安全対策について
199. 真夏のゴルフ医学 「コースに行く前、ラウンド中ちょっとしたことが生死を分ける」	単著	2005.08	日本ゴルフ学会主催 アメニティニズサワゴルフ レンジ 聖マリアンナ医科大学	日本ゴルフ学会関東支部主催にゴルフホーラムにおいて、真夏のゴルフの安全対策を講義生死を分ける熱中症・水分補給について。
200. 夏本番、怖い突然死には気をつけよう	単著	2005.09	ゴルフダイジェスト社 月刊ゴルフダイジェスト p. 158～ p. 159	真夏のゴルフ最も怖い突然死、安全で楽しいゴルフをするための基礎知識。
201. 昼のビールが欠かせないゴルファーのために	単著	2006.07	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト p. 210	アンケート調査で死亡原因の1つがラウンド中、昼食時に飲むアルコールが大きな要因である。特に基礎疾患がある方は特に注意して下さい、健康のためにはスポーツドリンクがお勧めです。
202. 特集 ゴルフ中の突然死に気をつけて	単著	2007.03	日経メディカル開発	ゴルフ中の突然死についての原因と対策、ゴルフをスポーツとして捉えるかまた遊びとして捉えるか捉え方によって突然死を予防する。
203. セカンドステージ 「夏のゴルフにご用心、熱中症などのリスク」	単著	2007.07	日本経済新聞	夏のゴルフのリスク。熱けいれん、熱疲労、熱射病以上を熱中症という、熱中症は予防が可能であり、十分な注意が必要である。
204. 特集企画 「涼しいゴルフ」	単著	2008.00	ACCORDIA 2008 SUMMER HOLE16	涼しいゴルフの10ヶ条、夏のゴルフを涼しく楽しくプレーを楽しむためのヒント。さらに18ホールをばてずにプレーするには、他のスポーツを楽しみながら体力をつけることが大切です。日常的にウォーキング、フィットネスなど取り入れましょう。
205. 特集 「ゴルファーの食を考える」	単著	2008.00	ACCORDIA 2008 AUTUMN HOLE17	プレー中の足のつりが少しでも少なくなるために、プレー前、プレー中の水分補給をまめに。「プレーで肘を痛めやすい人のために」プレー中の痛みは筋肉の炎症です日ごろ使っていない筋肉の疲労が原因です、痛みは体の警告です、早めのケアが何よりも大切です。
206. GOLF OLD&NEW	単著	2008.00	ACCORDIA 2008 WINTER HOLE18	プレー中に9腰を痛めた時はすぐにプレーを中止して病院に手診察を受けましょう、腰痛の予防は日常生活の中で急な動き、なれない動きに注意しましょう。プレー前には十分なストレッチ、さらに普段から腹筋、背筋、散歩より気合を入れたウォーキングを行い体のバランスを整えておきましょう。
207. 「毎日15分のストレッチ」でできるだけ階段を使いましょう			ゴルフダイジェスト p. 78	

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
208. 夏のゴルフの注意	単著	2008.06	学研 週刊パーゴルフ	中高年の7割が糖尿病、高血圧、高脂血症の基礎疾患を持っている、す文をまめに補給して血中濃度を高めないように注意する。脳梗塞や心筋梗塞を防ぐ。
209. 熱中症の予防と処置法		2008.07	週刊パーゴルフ p. 62～p. 64	
210. 特集 「この春からゴルフボディになる」	単著	2009.00	ACCORDIA 2009 SPRING HOLE19	膝の痛み、ゴルフのスイングはそもそも膝を痛めやすいのが原因です。従って少しでも痛まなくするためには普段からトレーニングが必要です。特に下半身の筋肉を強化し、直接膝にかかる重みを分散しサポートさせることです。腰から膝に掛けてある大腿四頭筋は、大腿二ある大きな筋肉を鍛えることが大切である。
211. 特集 「よりスマートに！」クール・ゴルフのすすめ	単著	2009.00	ACCORDIA 2009 SUMMER HOLE20	暑さも本番となり、体力を消耗しやすい季節。なつのらうんどできをつけたい「熱中症」について。水分補給だけではないの備え。ちゅうこうねんにおおくみられるきそしっかんやすとれす、あるこーる、喫煙なども状況によっては熱中症に原因となる。
212. 特集 「秋だから歴史もラウンドしてみよう」	単著	2009.00	ACCORDIA 2009 AUTUMN HOLE21	全英オープンでの59歳トム・ワトソンの活躍は印象的でした、私たちもいつまでもゴルフを楽しめるような体づく利が大切であります。ゴルフというスポーツの特性を認識しての体づく利、さらに何のためにゴルフをするのかを明確にするかお音を進めたい。
213. 特集 「A Happy New スイーツ」	単著	2009.00	ACCORDIA 2009 WINTER HOLE22	血管が収支くする寒い季節は、心筋梗塞や脳卒中などのリスクが高まります。ウェアを脱いだり、着たりと、こまめな温度調節を心がけましょう。「ドライバーの飛距離を維持する体力作りの方法」スイングの練習と並行して年齢に合った、下半身の筋力高めるのも大切である。
214. 熱中症に強くなろう	単著	2009.08	ゴルフTODAY pp. 154～pp. 155	日本の夏季は危険がいっぱい、夏のゴルフプレーについては、熱中症対策に中尉が必要、高湿という環境の中でのゴルフプレーの危険性についてに解説と、その対策。
216. 夏のゴルフの大敵（熱中症に強くなろう）		2009.08	ゴルフTODAY p. 174	
217. 真夏のゴルフ 熱中症で死なないために セカンドショットに気をつけよう 熱中症の危険度チェック10ヶ条	単著	2009.09	ゴルフダイジェスト社 月刊ゴルフダイジェスト p. 92～p. 93	アンケート調査によるゴルフ場での事故、特にあってはならない死亡事故についてみると、夏季における突然死が多くみられる、その原因は心筋梗塞であり、心筋梗塞を引き起こすもとは熱中症である。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
218. 冬の入浴は危険がいっぱい ラウンドで疲れた体を十分に いたわって		2009. 10	「MA J E S T Y」	
219. 脱水症状は真夏より春～初夏 こそ要注意！こまめな水分補 給を	単著	2010. 04	「MA J E S T Y」2010. 04 Summer	アンケート調査によるゴルフ場での重 大事故は突然死である。その突然死の 原因は心筋梗塞である。その心筋梗塞 を引き起こす要因は脱水である、油断 しやすいこの時期における水分補給。
220. ゴルフ 疲労回復術(だるい、むくみ、 食欲不振) 湿気の多いこの時期の疲れ対 策	単著	2010. 07	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト p. 184～p. 185	ゴルフプレーは楽しく、疲れなどは考 えられない、しかし中高年の方は疲れ が残りやすい、少しでも疲れを残さな いための対策、食事、睡眠、栄養、等 についての解説。
221. 「給水」注意 喉が渴いたと感じたら手遅れ です	単著	2010. 08	ゴルフダイジェスト社 月刊ゴルフダイジェスト p. 92～p. 93	心筋梗塞の原因は血液の流れが悪くな り血管が詰まることが原因の一つで あり、その血液の流れを良くするため には、水分の補給が大切である。補給の 仕方と成分について。
222. 本当の夏バテは秋に出る こ まめなケアで疲労を軽減	単著	2010. 10	「MA J E S T Y」2010. 10 Autumn & winter	若い人はあまり関係ないかもしれない が、中高年になるとゴルフの後の疲労 がなかなかとれにくい、特に暑い夏に 無理をしてゴルフをしたりするとその 疲れが秋の出る、夏場の簡単な運動 で、秋に疲労を残さない工夫についた の解説。
223. 元気DEゴルフ研究所 完治前のムリなゴルフが日常 動作もできない危機に！！	単著	2010. 10	ゴルフTODAY pp. 142～pp. 143	
224. 舌を出さなくなったタイガー ウッズに何が起きたのだろうか	単著	2010. 11	ゴルフダイジェスト社 月刊ゴルフダイジェスト p. 200	
225. 元気DEゴルフ研所 ぶっつけ本番のラウンドで腰 の時限爆弾にスイッチが	単著	2011. 02	ゴルフTODAY pp. 86～pp. 87	
226. 元気DEゴルフ研究所 ゴルファーに多い手首の痛み プレー直前のケアがものをい う	単著	2011. 05	ゴルフTODAY pp. 74～pp. 75	ゴルファーが手首を痛めるケースは多 い、クラブと体との唯一の接点には想 像以上の負荷がかかるから起こる。に もかかわらず、痛みがあっても、たか が腱鞘炎と見過ごしがち、日常生活に 支障をきたす前に早めにケアすること が大切。
227. 元気DEゴルフ研所 日頃の「ちょこっと筋トレ」 がいざという時生命を守る	単著	2011. 06	ゴルフTODAY pp. 142～pp. 143	東日本大震災当日、交通機関がほぼス トップした首都圏のサラリーマンたち は、帰宅する、その当たり前のことが どれだけ大変かを思い知らされた。い つまたやってくるかわからない災害に 備え、「どこでも」「ちょこっと」出 来る身近な筋力トレーニング。
228. 元気DEゴルフ研所 命を守るカギは2ホールでコッ プ1杯の水分補給	単著	2011. 07	ゴルフTODAY pp. 154～pp. 155	

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
229. 夏のゴルフは薄めのスポーツドリンク	単著	2011.08	ゴルフダイジェスト社 月刊ゴルフダイジェスト p. 92～p. 93	日本では7月から9月の季節においてゴルフ場での突然死が急増する特に男性の中高齢者、高齢者にその危険な季節でありその対策が急がれている、golf場における死亡状況と、生死を分ける、知っておきたい5つの心得についての解説。
230. 熟眠でゴルフが上達する？	単著	2012.02	ゴルフメカ golf mechanic Vol. 57 P. 78～81	私たちが生きるために欠かす出来ない、「睡眠」睡眠には心身を休息させ、免疫力を高めたりストレスを和らげる効果がある従って睡眠がラウンド前夜のねむり方や、過ごし方の方法についての解説。
231. 大人の健康講座 特集「病」に倒れる生き方	単著	2012.03	株式会社・週刊新潮 p. 132～p. 138	ゴルフ場での突然死は他のどんなスポーツよりも多い、死因は心筋梗塞などの心血管系の症状が70%を占めている、20%が脳血管系である。主な原因はきそしっかんと、ストレスである。
232. ホスピタル夏ゴルフ編 熱中症予防のチャンボン補給	単著	2012.07	ゴルフダイジェスト社 月刊ゴルフダイジェスト p. 141	夏のゴルフは熱中症に注意が必要で、炎天下のラウンド、沢山汗をかきます従って水分補給は欠かせません、汗4とともに体の機能を保つミネラルなどが出て行ってしまいます、水だけでなくスポーツドリンクを一緒に飲むことが大切です。
233. 7月の旅人 「地井武男」心不全死去で散歩やり過ぎは身体に悪いか	単著	2012.07	週刊新潮 p. 49	つい最近まで元気に歩く姿を見せてくれていた俳優の地井武男さんがなくなりました。心不全だという、散歩は身体に悪いのか、やり過ぎは良いとは言えない、特に地井さんのように過去に狭心症で倒れたことのある方は要注意です。
234. 暑さや日焼け対策でスコアは変わる夏ゴルフ・あなたが知らない落とし穴 気になるグッツを大紹介	単著	2012.08	ゴルフ トウデイ Today (月刊誌) p. 97～105	真夏のゴルフコースは、そのエリアで観測される気温より芝の照り返しによってかなり高くなるため非常に危険な状況です。人は暑いと汗をかき、汗が蒸発するとき体の熱を奪う作用によって、体温調整を行っている、外気温が体温より高い時に熱中症になりやすい。
235. スコアを崩さないためにどうする	単著	2012.08	ゴルフダイジェスト社 週刊ゴルフダイジェスト p. 166～168	水分補給はこまめにすることが大切、2ホールにコップ一杯が適量。また足がつるのは体の危険サイン絶対に避けること電解質の水分補給をこまめに行い血液の循環を良くしてあげることが大切。
236. サプリメント効果で血流の活性化	単著	2012.11	ちゅうこうねんに	サプリメントは、体力の土台作りをサポートしてくれるもの、自分に合ったサプリメントは使ってみるのほうがいいかでしょうか。
237. スポーツは意外に身体に悪い 特集・突然死にご用心	単著	2013.07	週刊新潮 p. 50～52	激しいランニングは寿命を縮めるとの研究が話題となっているゴルフでのようなスポーツでも自分の体のことを良く知らないでプレーすると危険である
238. ゴルフ賢者の食事&ドリンク学 こまめな水分補給ってどれくらい	単著	2013.09	週刊ゴルフダイジェスト	ラウンド前からコップ一杯ぐらい飲んでおく、ラウンド中は毎ホールゴツに少し口に含む癖をつけておく特にティショット前の水分補給が何よりも大切である

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
239. 「三寒四温」ゴルフ場でもヒートショックにご用心 この時期ヒートショックによる救急事故が多くなる季節	単著	2014.03	週刊ゴルフダイジェスト p.187	ヒートショックとは急激な温度変化で血圧の上昇や脈拍などに大きな変化が起これ健康を害することで、心筋講師区、心不全、脳梗塞などの重大な事故に繋がる危険がある
240. 「多田しげお」の気分爽快 「今の季節安全にプレーするには」	単著	2014.06	CBCラジオ名古屋	
241. 夏のゴルフ・水分補給が中高年に突然死のリスク	単著	2014.07	日本経済新聞	中高年を中心に健康の為にゴルフを親しむ人は多い、プレー優先で無理をするのではなく健康への配慮も含めて楽しむための心がけ
242. 「中井正広」のミになる図書館	単著	2015.01	テレビ朝日	ゴルフというスポーツがプレーの仕方によっては危険なスポーツになる。したがってそ一つとしてのごるふをたのしむためのこころがけについて
243. 「羽鳥慎一モーニングショー」 ゴルフと血圧	単著	2015.12	テレビ朝日	ショット時の血圧の変化について解説し、中高年ゴルファーのプレー中の事故防止について
244. 高温多湿のニッポンのゴルフ場 快適プレーは自分次第	単著	2017.07	月刊アルバ 7月号 p.129～130	
245. 盛夏の突然死を防ぐ 「夏ゴルフ」心筋梗塞を呼ぶ 「魔のホール」は何番	単著	2017.07	週刊新潮 p.142～145	